

The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology

第 49 回日本毒性学会学術年会

ランチョンセミナー (L 1 - 4)

# 「iPSC 由来のニューロン、アストロサイト、 ミクログリア、神経オルガノイドシステムを用いた 神経炎症のモデリング」

日時 2022 年 6 月 30 日 (水) 12:00 - 13:00

会場 第 6 会場 (札幌コンベンションセンター 2F 小ホール)

演者 Jason Hamlin, PhD

(Product Manager - Neuroscience, STEMCELL Technologies Inc.)

\*ランチョンセミナーチケット (整理券) は当日 8:30 から 1F エントランスホールにて配布予定です。

環境毒性と遺伝的要因は、神経変性において主要な役割を担う神経炎症の一因となっています。ミクログリアとアストロサイトはニューロン接続を制御して中枢神経系内の炎症を調節しますが、本発表ではヒト多能性幹細胞 (hPSC) 由来のニューロン、アストロサイト、ミクログリア、そしてそれらの細胞が神経炎症毒性効果の *in vitro* モデルにおいてどのように機能するのかについてご紹介します。

また、良好な hPSC の分化・様々な細胞種を使った実験デザインを可能にする STEMCELL Technologies 社の STEMdiff™ 神経系分化誘導シリーズ製品の概要についてもお話したいと思います。

座長: 鈴木 郁郎 先生 (東北工業大学 大学院工学研究科)

